

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	奈良県	事業実施主体	十津川村	地域再生計画名	地域の共存と交流による活力あるふるさとづくり計画
計画期間	令和2年度～令和6年度	評価責任者	十津川村建設課長 大前貴広		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	地域再生計画の目標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価				
	目標		基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績		指標 総数	達成 数					
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	目標 1	釈迦ヶ岳登山者数の増加（人）	4,200	R1	4,700	R4	5,806	5,000	R6	4,519	△	4 1	最終目標値に達することができなかった。行楽シーズンの9～11月頃の来場者数が伸び悩んでいるが、長期に渡る崩土等の通行止めなどの直接的要因は無かった。秋季の天候や紅葉に恵まれなかったこと、能登水害などによるアウトドア控えなどが考えられる。			
	目標 2	笹の滝観光客数の増加（人）	4,700	R1	5,200	R4	4,818	5,500	R6	2,701	△		10～3月についてカウンターの不良により集計が出来ていないため、R6年度は実数値が不明であるが、最終目標値にはやや届かなかったものと考えられる。要因として、近隣観光地である谷瀬の吊り橋が周辺の解体工事に伴い約1か月間通行止めにしたため、笹の滝まで足を延ばす観光客が減ったことが考えられる。			
	目標 3	玉置神社観光客数の増加（人）	37,000	R1	39,000	R4	59,272	40,000	R6	90,139	○		最終目標値を達成した。			
	目標 4	村内原木生産量の増加（m3）	20,000	R1	28,000	R4	13,393	30,000	R6	20,840	△		林業従事者の減少、後継者不足などの課題があり、最終目標値に達することができなかった。			
②事業の実施状況に関する客観的な指標（KPI）の実現状況	重要業績評価指標（KPI）		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況						
	指標 1	法面対策必要箇所数	3箇所	R1	2箇所	R4	2箇所	0箇所					R6	0箇所	○	最終目標値を達成した。
	指標 2	橋梁修繕必要箇所数	2橋	R1	0橋	R4	0橋	0橋					R6	0橋	○	最終目標値を達成した。
	指標 3	森林施業地への所要時間	25分	R1	15分	R4	15分	5分					R6	12分	△	最終目標値に達することはできなかったが、森林施業地への所要時間を一定量短縮することができた。
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価										
			計画	中間年度（R4）	最終実績											
地域再生計画に記載がある特別な措置を適用して行う事業	村道整備事業（整備延長）		0.611km	0.301km	0.613km	計画整備量を達成した。										
	林道整備事業（整備事業）		0.827km	0.374km	0.527km	急峻な地形への対応した工法の採用、資材・人件費等の高騰、度重なる崩土への対応により予算が嵩み、計画整備量に対して大幅な減少となった。地域再生計画は令和6年度で終了したが、林道開設工事は次年度以降も引き続きおこなっている。										
その他の事業	間伐事業		林道高滝線内において村有林事業の実施			R4年度に林道高滝線内にある村有林において、間伐事業を実施し、車両系システムによって木材が搬出された。林道施設である林業作業用施設も活用された。										
	道路改良事業		生活や産業の基盤となる村道整備の実施			災害時の迂回路機能を有する村道改良の実施、および道路未整備地区における村道開設により住民生活の利便性が向上されているとともに、産業振興に結び付くことが期待される。										
	観光振興事業		広域観光PR事業の実施			インバウンドをターゲットに大阪府泉南市・和歌山県田辺市と連携し、紀伊半島を周遊し「紀伊山系の霊場と参詣道」と温泉を体験するPR事業を行っている。その結果、令和6年度には過去最高のインバウンド宿泊者数を記録した。引き続きインバウンドの受け入れ態勢を強化したい。										
計画外で独自に実施した事業	十津川村公園事業		村外におけるイベント実施			奈良市ならまちセンターにおいて、十津川産材を使った遊具を設置し、都市部の親子が木のぬくもりを体験することにより、十津川村の林業PRIにつながったと考えている。										
	足湯事業		県内における出張足湯実施			県内におけるイベント会場において、村の温泉を活用した出張足湯を行い源泉かけ流しの温泉をPRすることにより、誘客につながると考えている。										
④評価方法	地域再生計画に記載した数値目標に関する部署および関係団体代表により、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。															
⑤事後評価の公表方法	十津川村のホームページに掲載															
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した村道と林道整備を一体的に実施し観光事業において、最終目標に対して玉置神社では約50,000人の増であり効果を発揮している。林業事業においては、皆伐後の再造林などのコストの増加や林業従事者不足などにより、素材生産量は伸び悩んでいることから、林業従事者増加に向けた条件整備や高効率化による出材量増大を図らなければならない。															
⑦今後の方針等	林道事業において、次年度以降も引き続き林道開設工事をおこない所要時間の短縮を図る。また林業事業において、素材生産量増大を図るため、林業従事者育成のための場の提供や林業機械の導入補助など、林業従事者増加に向けた取り組みや作業の高効率化に向けた支援を推進していきたいと考えている。															